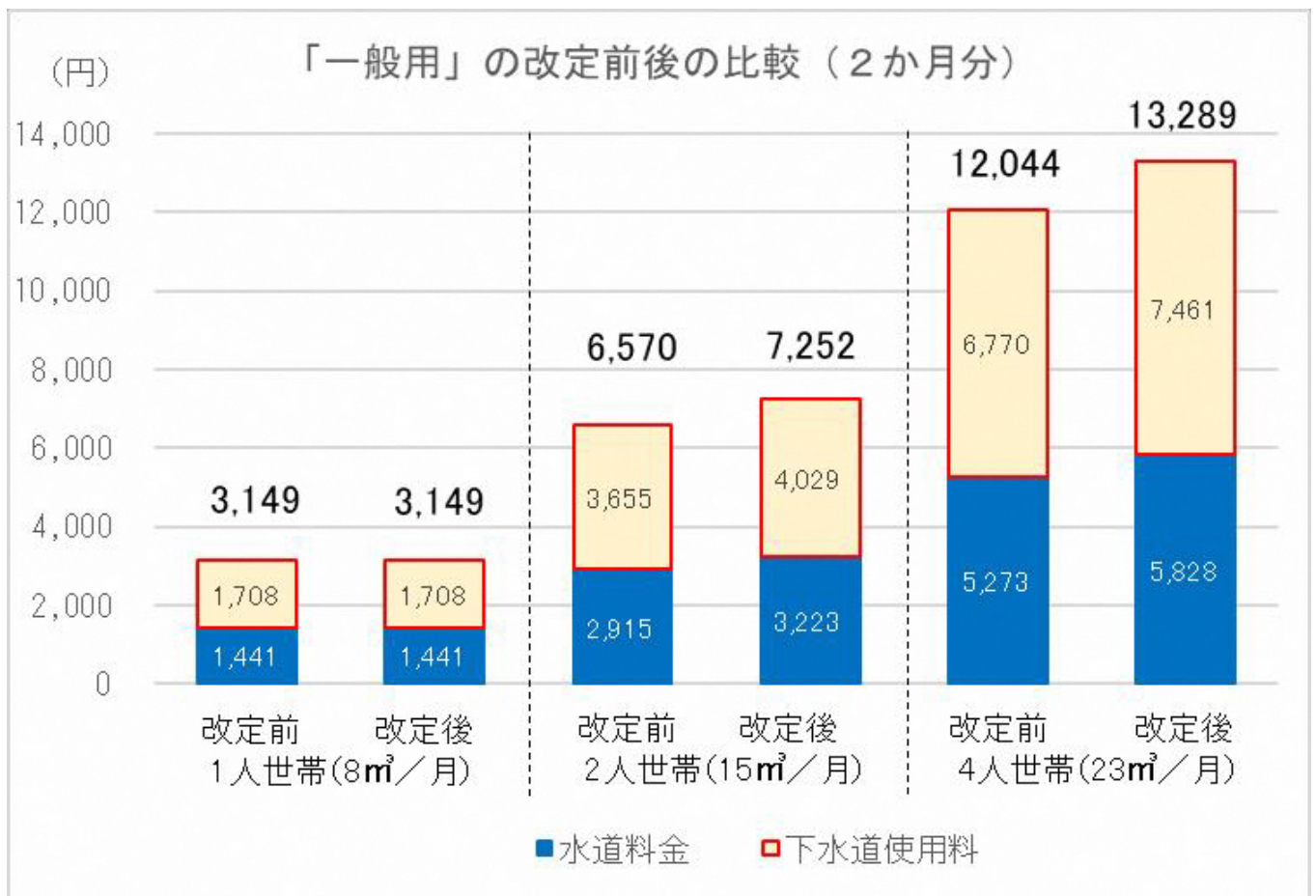
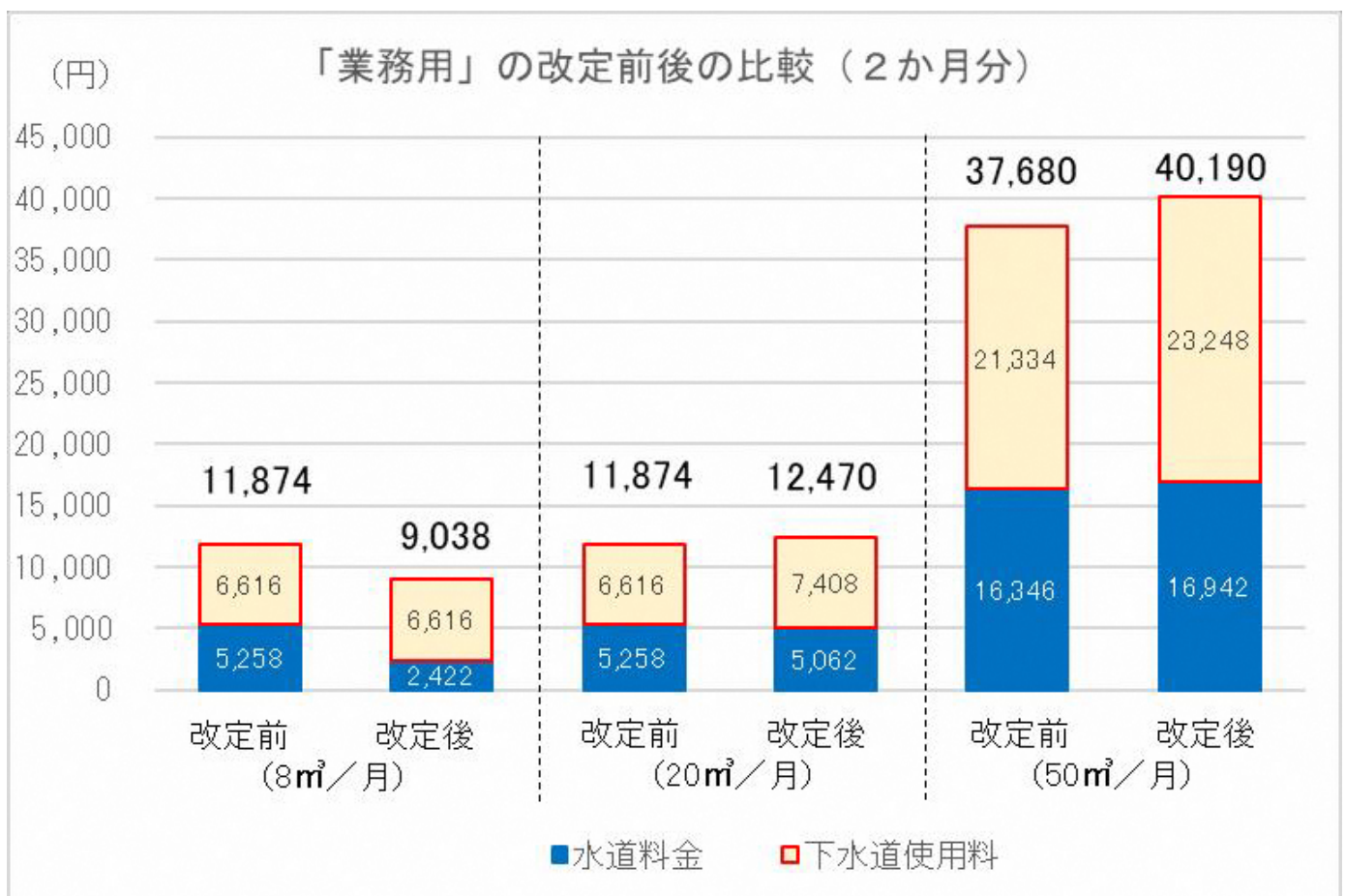




※ 1人世帯、2人世帯、4人世帯の使用水量はモデルケースであり、実際の使用量は水の使い方により異なります。



議会改革特別委員会 委員長報告（議員定数について）

1. 委員会活動の経緯

議会改革特別委員会では、令和元年8月の大竹市議会選挙において無投票の結果、令和元年9月に以下の2つを付議事項とした、議会改革特別委員会（8名）の設置が決議されました。

- （1）議会改革に関して議長が必要と認める事項
- （2）議員のなり手不足解消に関する事項

2. 前期委員会の経緯

前期の委員会（令和元年9月）では寺岡委員長・日域副委員長が選任され、各委員（8名）から15項目の課題が提示されました、その中で現在4項目（議長主導のSNS発信・委員会のテレビ、ネット中継・自由討議の制度導入・決算委員会等の意見の議会提案）が実施されています。

3. 後期委員会の活動

昨年9月議会人事による後期の委員会からは、下記の表に示した8人の委員で編成され、前期委員会の活動を踏襲しながら、先程の付議事項の「議員のなり手不足解消に関する事項」に、関係する「議員定数について」に特化した議論を行うことが、委員会として決定されました。

網谷委員長	藤川委員	小中委員	北地委員
西村副委員長	原田委員	小田上委員	日域委員

3-1 資料提供

議論の参考に、委員の中から議員定数関連の資料が提供されました。

<北地委員>

- 大竹市議会議会改革調査会報告書（平成30年7月20日）
- 大竹市議会議会改革等検討委員会中間報告書（平成19年5月31日）
- 大竹市議会議会改革等検討委員会確認事項（平成19年2月13日）
- 大竹市議会議員定数検討協議会報告書（平成15年2月25日）
- 大竹市議会行財政改革研究会報告書（平成10年11月）
- 議員定数並びに委員会構成及び定数の変遷

＜小中委員＞

○（全国）人口 2 万人～人口 4 万人未満の市町の議員定数・面積・報酬等

以上、7 点の資料提供があり、委員の皆さんからは、活発な多くの意見が出されました。

4. 委員発言の抜粋

- ・定数削減ありきではなく、少なくとも一年 3 か月（令和 4 年 1 2 月議会）位かけて結論を出す。
- ・今回の議会改革特別委員会の本丸は、「議員定数問題について」である。
- ・前回選挙で無投票の結果を踏まえての協議は必要。
- ・無投票だと、市民からの選挙権を奪うことになる。

上記の各委員の発言の多くは、先の選挙で無投票の結果になったことに対し、大竹市議会にとって議員定数問題が大きな課題であることが確認され、協議の中で委員から「議員定数問題について」の全議員によるアンケート調査実施についての意見が出され、委員会で決定されました。

5. 第 1 回アンケート調査

委員会では委員外議員を含めた全議員（16 名）での第 1 回アンケート調査を、無記名で行うことが委員会で決定されました。

（アンケート設問） ＜提出期限 令和 3 年 1 2 月 2 6 日＞

- ① 議員定数問題と、前回の市議会選挙による無投票との因果関係は。
- ② 無投票を回避するための打開策は。
- ③ 議員定数のあり方についての考えは。
- ④ その他の意見は。

（アンケート結果）

- ① 因果関係 有 3 名・無 9 名・その他 4 名（因果関係はないとの結論）
- ② 打開策は定数減 3 名・その他 13 名（打開策に即効性は見出せなかった）
- ③ 議員定数減 3 名・現状維持 6 名・その他 7 名
- ④ 色々な意見が出ており、集約は困難

アンケート結果（ホームページに掲載）を踏まえ令和 4 年 2 月 7 日には、全議員による意見交換を行い、皆さんより貴重な意見を頂き、委員会の参考とさせて頂きました。

6. 議会報告会

令和4年4月23日議会報告会が実施され、共通のテーマとして「議員のなり手不足と議員定数について」が意見交換されました。

また、出席頂いた市民にも報告会の中での「議員定数について」のアンケート調査を実施いたしました。（出席者35人）

（アンケート結果）〈ホームページに掲載〉

- | | |
|-------------|-----|
| ① 増やすべき | 4名 |
| ② 現状維持 | 16名 |
| ③ 減らすべき | 9名 |
| ④ どちらとも言えない | 6名 |
| ⑤ 未記入 | 1名 |

以上の結果となりました。

7. 第2回アンケート調査

その後の委員会で、第1回目の全議員アンケート調査から、半年以上の時間が経過しており、最終結論の時期も迫っていることから、第2回目の全議員によるアンケート調査の実施について、委員会で決定しました。

但し、第2回目の設問内容は前回と違い議員の皆さんの意思表示が、明確になるような設問と、記名方式で行われることが決定しました。

（提出期限 令和4年7月20日）

（アンケート調査結果）〈ホームページに掲載〉

- | | |
|---------|-----|
| ① 増やすべき | 0名 |
| ② 現状維持 | 10名 |
| ③ 減らすべき | 6名 |

議会報告会も入れて3回のアンケート調査を行いましたが、議員定数については概ね「現状維持が妥当」だとの意見が多数であることが確認されました。

8. 昨年9月からの委員会開催日の日程内容

令和3年	9. 10		正副委員長互選
	9. 15	日程第1	前委員会での経過報告
		2	委員会の活動方針について
	10. 20	日程第1	決算審査と議会提案
		2	活動方針及び活動計画
	11. 19	日程第1	活動方針及び活動計画
	12. 8	日程第1	議員定数問題に関する全議員参加のアンケート調査についての是非

			2	議員定数問題に関する活動方針について（スケジュール）
令和4年	1.	1 2	日程第1	アンケート調査の結果に委員による意見交換
	2.	7	日程第1	アンケート調査の結果に全議員の意見交換（第1回）
	2.	1 6	日程第1	議会報告会について
	3.	4	日程第1	議会報告会の資料作成について（役割分担）
	3.	2 9	日程第1	議会報告会の資料作成についての確認
	4.	8	日程第1	議会報告会資料作成の修正・確認
	4.	2 8	日程第1	議会報告会（議員のなり手不足・議員定数）についての意見交換
	5.	1 3	日程第1	選挙と無投票との因果関係の検証
	6.	1	日程第1	無投票を回避する為の打開策の検証内容
	6.	7	日程第1	無投票を回避する為の打開策の検証
	6.	2 3	日程第1	前委員会の会議のまとめ
			2	「議員定数の在り方」と「その他」の検証
	7.	7	日程第1	前委員会の会議のまとめ
			2	アンケート調査の実施の是非について
	7.	2 6	日程第1	全議員によるアンケート結果の意見交換（第2回）
	8.	9	日程第1	第2回アンケート結果の意見交換（全議員）
	8.	2 5	日程第1	第2回アンケート結果の意見交換についての感想
			2	最終結論に向けてのスケジュール
				（※委員会すべてに、日程「その他」の項目は入れております。）

以上で、昨年9月より1年間の「議員定数問題について」の取り組み経過についての報告とさせていただきます。

9. 最終結論

最後に、上記経緯を踏まえ9月12日開催の議会改革特別委員会において「議員定数問題について」の採決の結果、「現状維持」が4名、「定数削減」が3名という結果になり、議会改革特別委員会としましては、大竹市議会議員定数は現状の16名を維持すべきとの結論を得ました。以上、報告します。

10. むすび

昨年9月からの一年間で、委員会の開催は計20回に亘り協議を重ね、特に2回のアンケート調査には、委員外議員の皆さんにも参加を協力いただきました。

議会改革特別委員会では、今後任期満了までの一年近くの活動期間においては、当初の活動計画どおりに前期委員会で実施されている、試行中の改革事項の検証、併せて新たな改革事項、そして付議事項の「議員のなり手不足解消」について引き続き調査・研究等に取り組んで行きたいと考えていますので、これからも宜しくお願いします。

令和4年9月21日

議会改革特別委員会 委員長 網谷 芳孝